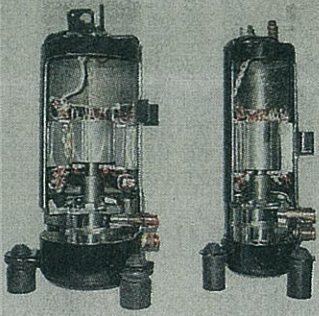


冷房専用コンプレッサー

外径84.9ミリ 世界最小

日立AP



従来機と比べて外径を約3割細くし、気筒容積をほぼ変えずに開発した新型コンプレッサー

破壊係数がゼロの代替フロン「R410A」を使用するタイプ。外径は八四・九ミリで従来機種より二割細く業界で最小。マレーシアやタイ、シンガポールなどアジア地域向けの冷房専用の省エネエアコンに搭載する。

さらに冷房専用とする。新型コンプレッサーは生産コストも三割程度削減できる。生産拠点のマレーシアの工場からアジア地域へ運搬する際の環境負荷も低減できる。

化、外周部の厚みを削減した。さらには冷房専用とすることで冷媒の圧縮に必要なトルク(回転力)を見直し、冷房専用向けよりトルクを二割削減、モーターを構成する銅線の太さを四割細くすることで銅の使用量を五一%減らした。従来機は冷房専用機も冷暖房兼用機もほぼ外径は同じだったという。

日立製作所の白物家電子会社の日立アプライアンス(東京・港)は外径が世界最小のルームエアコン向けコンプレッサー(圧縮機)を開発した。開発したコンプレッサーの外周部に組み込み冷媒の圧縮室の仕切りとなす弁とスプリングを小型に、外径を二八%、重量が二つで冷媒にオゾン層を低減できる。

銅や鋼板の使用量を減らすことで、コスト削減が可能となす。運搬時の環境負荷を低減できる。

耐久性を左右するコンプレッサーの回転軸の太さや冷房能力と密接に関係する気筒の容積は従来機と同等。コンプレッサーの外周部に組み込み冷媒の圧縮室の仕切りとなす弁とスプリングを小型に、外径を二八%、重量が二つで冷媒にオゾン層を低減できる。

許可番号：日経0301808
社外配布目的での複写禁止